

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療Ⅳ リハビリの実際		秋山 洋一		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	(5)	2年生教室 実習室	前期	水曜日	4限目
実務経験	本科目は、理学療法士として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	骨折、末梢神経障害、関節可動域運動、等尺運動、等張運動、脳血管障害 運動障害、片麻痺、良肢位、廃用症候群、補助具、起居動作、移乗動作				
到達目標	運動障害のある患者のADL拡大・社会復帰や廃用症候群予防のためのリハビリテーションの実際について理解し、臨地実習において援助ができる				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第3章 運動器系の障害とリハビリテーション看護 骨折の治療とその過程 骨折のリハビリテーションプログラム 障害とリハビリテーション看護 末梢神経障害 関節拘縮 筋委縮
2	第4章 中枢神経系の障害とリハビリテーション看護 脳血管障害のリハビリテーションプログラム パーキンソン病のリハビリテーションプログラム 脊髄損傷のリハビリテーションプログラム 運動障害とリハビリテーション看護、治療・訓練 ・廃用症候群の予防 ・片麻痺の機能回復訓練 ・補助具の適応、環境調節 ・良肢位の保持 ・関節可動域訓練 ・ADL、IADL 訓練 ・移乗動作
3	終講試験
履修上の要件	解剖生理学Ⅱ 運動器 解剖生理学Ⅲ 神経系 疾病と治療Ⅳ 運動器、脳神経系
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 運動器 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 脳神経 医学書院 各種実習物品 パソコン プロジェクター
成績評価の方法	筆記試験 運動器、脳神経、血液と合わせて「疾病と治療Ⅳ」の単位とする
備考	